

宇久高等学校英語科 CAN-DOリスト

技能		聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
評価計画	時期	・授業中：活動状況、ワークシート ・定期考査ごと：リスニングテスト	・授業中：活動状況、ワークシート ・定期考査	・授業中：活動状況（ペアワーク等） ・学期ごと：パフォーマンステスト（インタビューテスト、ディスカッション、ディベート）	・授業中：活動状況（ペアワーク等） ・学期ごと：パフォーマンステスト（スピーチ、プレゼンテーション）	・授業中：活動状況、ワークシート ・隔週、自由英作文の提出 ・定期考査
	文Ⅱ 理Ⅰ 文Ⅰ					
1年	前期	○教師の英語による指示を理解することができる。 ○身近な話題について、発話速度の調整や、基本的な語句や文への言いかえ等の支援を活用しながら、対話や説明の概要を把握することができる。	○身近な話題について、基本的な語句や文で書かれた150語程度の文章を読み、必要な情報を理解することができる。 ○簡単な図表、電子メールやパンフレットから必要な情報を読み取り、書き手の意図を理解することができる。	○使用する語句や表現、やり取りの具体的な進め方が十分に示された上で、身近な話題についての情報や考えを伝え合うことができる。 ○状況に応じて相づちを打ったり、聞き返したりすることができる。	○身近な話題について、短い文章で話すことができる。 ○授業で取り上げられた話題について、自分の考えや感想を平易な表現を用いて話すことができる。	○示された語句や表現、モデル文を活用しながら、身近な事柄について30語程度の英文を書くことができる。
	後期	○社会的な事象や問題などについて、発話速度の調整や、基本的な語句や文への言いかえ等の支援を活用しながら、対話や説明の概要を把握することができる。	○社会的な事象や問題などについて、基本的な語句や文で書かれた200語程度の文章を読み、キーワードを目印に、必要な情報を理解することができる。	○使用する語句や表現、やり取りの具体的な進め方が十分に示された上で、社会的な話題について賛成・反対の立場を示し、その理由や根拠を伝え合うことができる。 ○使用する語句や表現が十分に示されたうえで相手の話した内容について、簡単な質問をすることができる。	○日常的な場面を描いた写真や絵を見て、平易な表現を用いて説明することができる。 ○教科書で学んだ内容について、要点をまとめて説明することができる。	○示された語句や表現、モデル文を活用しながら、社会的な事象や問題に関して、情報や考え、気持ちを理由や根拠と共に、50語程度の英文を書くことができる。 ○一定の支援を活用しながら、自らの書いた英文を読み返し、推敲することができる。
2年	前期	○一定の支援を活用しながら、身近な話題に関する会話などを聞き、複数の情報の概要を正確に理解することができる。	○簡単なチラシや公共施設などにある案内、または図表などが複数提示されている文章を読み、必要な情報を理解することができる。	○身近な話題に関する話を聞き、感想や意見を即興で述べることができる。 ○自分の意見に向けられた質問に対して、簡単な応答ができる。	○身近な話題について、構成や表現を工夫した原稿を作成し、ジェスチャーやイントネーションを工夫して発表することができる。	○身近な事柄に関する考えや意見を、簡単なつなぎ言葉を使用しながら、70語程度の英文を書くことができる。
	後期	○一定の支援を活用しながら、社会的な事象や問題に関する会話や説明を聞き、複数の情報の概要を正確に理解することができる。	○身近な話題について、300語程度で書かれた文章を読み、概要や要点を理解することができる。	○社会的な事象や問題についてペアやグループで話し合い、相手の意見に対する簡単な感想を即興で述べることができる。 ○相手の話した内容について、簡単な質問をすることができる。	○社会的な話題について、構成や表現を工夫した原稿を作成し、ジェスチャーやイントネーションを工夫して発表することができる。 ○簡単なつなぎ言葉を使いながら、論理的な発表ができる。	○説明や描写の表現に工夫しながら、自らの考えや意見を相手に伝えるように書くことができる。
3年	前期	○身近な話題に関する会話などを聞き、複数の情報の概要を正確に理解することができる。	○社会的な事象や問題について、500語程度で書かれた説明文を読み、概要や要点を読み取ることができる。	○身近な話題についてペアやグループで話し合い、具体的な感想や意見を即興で述べることができる。 ○自分の意見に向けられた質問に対して、具体的な応答ができる。	○身近な話題について、構成や表現を工夫した原稿を作成し、視覚的な補助資料を用いながら、ジェスチャーやイントネーションを工夫して発表することができる。	○少ない支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことについての自分の考えや気持ちを、70語程度の英語で書くことができる。
	後期	○社会的な事象や問題に関する会話や説明を聞き、聞き取る目的に応じて、情報を正確に理解することができる。 ○構成がはっきりとした物語などを聞き、概要を正確に理解することができる。	○社会的な事象や問題について、700語程度で書かれた説明文を読み、必要な情報を理解することができる。	○社会的な事象や問題についてペアやグループで話し合い、相手の意見に対する具体的な感想を即興で述べることができる。 ○相手の話した内容について、具体的な質問をすることができる。	○社会的な話題について、構成や表現を工夫した原稿を作成し、視覚的な補助資料を用いながら、ジェスチャーやイントネーションを工夫して発表することができる。 ○様々なつなぎ言葉を使いながら、論理的な発表ができる。	○少ない支援を活用しながら、社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に、情報、考えや気持ちを論理的に注意して100語程度の英語で書くことができる。 ○一定の支援を活用しながら、自らの書いた英文を読み返し、推敲することができる。
3年	前期	○社会的な事象に関する講義など、まとまった量の英文を聞き、要点を正確に理解することができる。 ○まとまった量の物語などを聞き、重要なエピソードや登場人物の心情を理解することができる。	○社会的な事象や問題などに関して、900語程度で書かれた説明文を読み、パラグラフごとの要点を理解することができる。 ○構成がはっきりとした物語などを聞き、重要なエピソードや登場人物の心情を理解することができる。	○身近な話題についてペアやグループで話し合い、意見交換をする中で折り合いをつけ、ひとつの結論に導くことができる。	○表やグラフを用いて、身近な話題について論理的に発表することができる。 ○日常的な場面を描いた複数のイラストや写真を見て、筋立てて内容を具体的に説明することができる。	○図表などと関連付けて、自らの意見をその根拠と共に論理的に150語程度の英語で書くことができる。
	後期	○社会的な事象に関する講義など、まとまった量の英文を聞き、複数の情報を統合的に理解することができる。 ○まとまった量の物語を聞き、ほとんどの内容を正確に理解することができる。	○社会的な事象や問題などに関して、1,000語以上で書かれた説明文を読み、複数の情報を統合的に理解することができる。 ○まとまった量の物語などを聞き、ほとんどの内容を正確に理解することができる。	○社会的な事象や問題についてペアやグループで話し合い、反対意見や賛成意見などをお互いにやり取りする中で折り合いをつけ、ひとつの結論に導くことができる。	○社会的な事象や問題などの専門性の高い事柄について、イラストや写真・表やグラフを用いながら、構成や表現を工夫して説明したり、自らの意見を具体的に述べたりすることができる。	○社会的な事象や問題について複数のパラグラフからなる200語程度のエッセイを論理的に書くことができる。 ○自らの書いた英文を読み返し、推敲することができる。

【数値目標】

- ①授業における教員の英語使用の割合 (70 %)
- ②授業において生徒による言語活動が占める時間の割合 (50 %)
- ③ ※各学校で独自の目標を加えてよい。()

<作成上の注意事項>

- 1 「評価計画」の欄には、「授業中」、「定期考査」などの評価する時期や場面と、「活動の状況」、「パフォーマンステスト」など評価の材料とする項目を記入する。
- 2 4技能における各学習到達目標はすべて「～できる」という表記にする。
- 3 到達目標として定期考査や模擬試験等の点数及び偏差値、外部テストの取得級、スコア等は記載しない。
- 4 各学校の実情に合わせて、様式を独自に作成しても構わない。